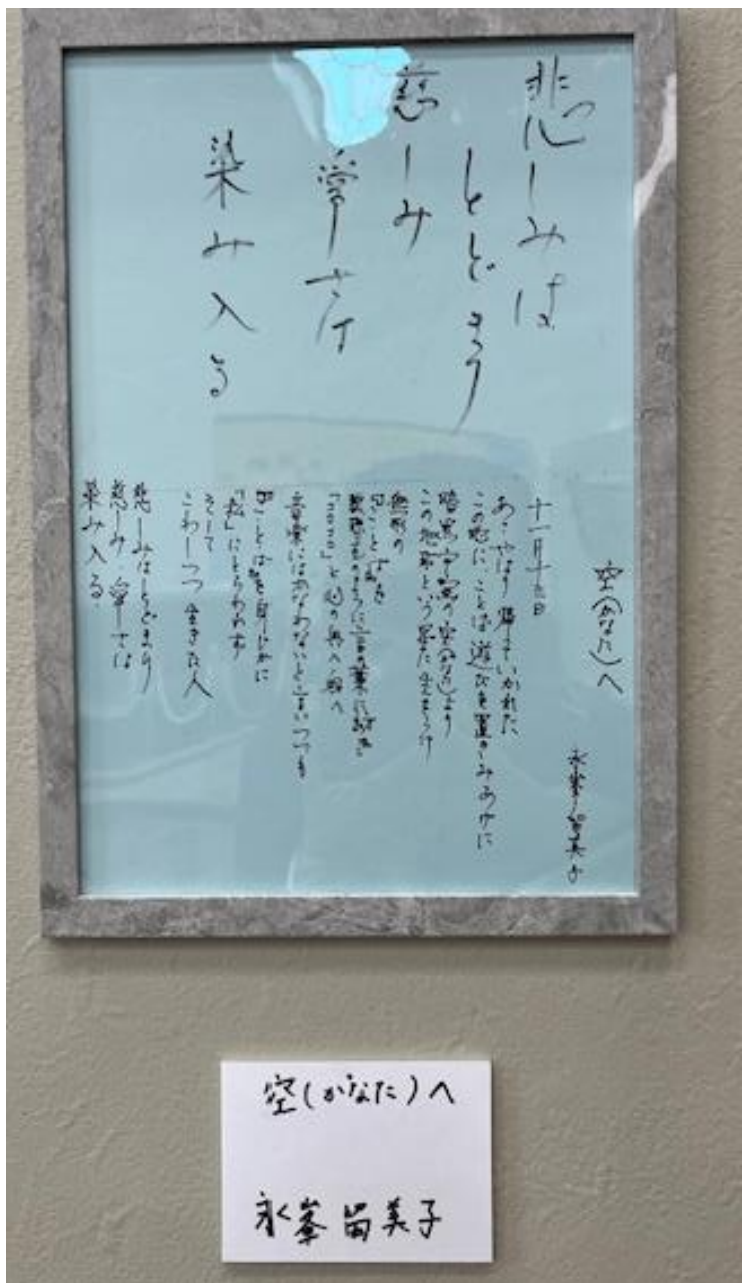


Poem & ArtCollection2025作品集



2025. 3. 27~4. 1 神戸文学館

順不同



空(かた)へ
永峯留美子

永峯留美子

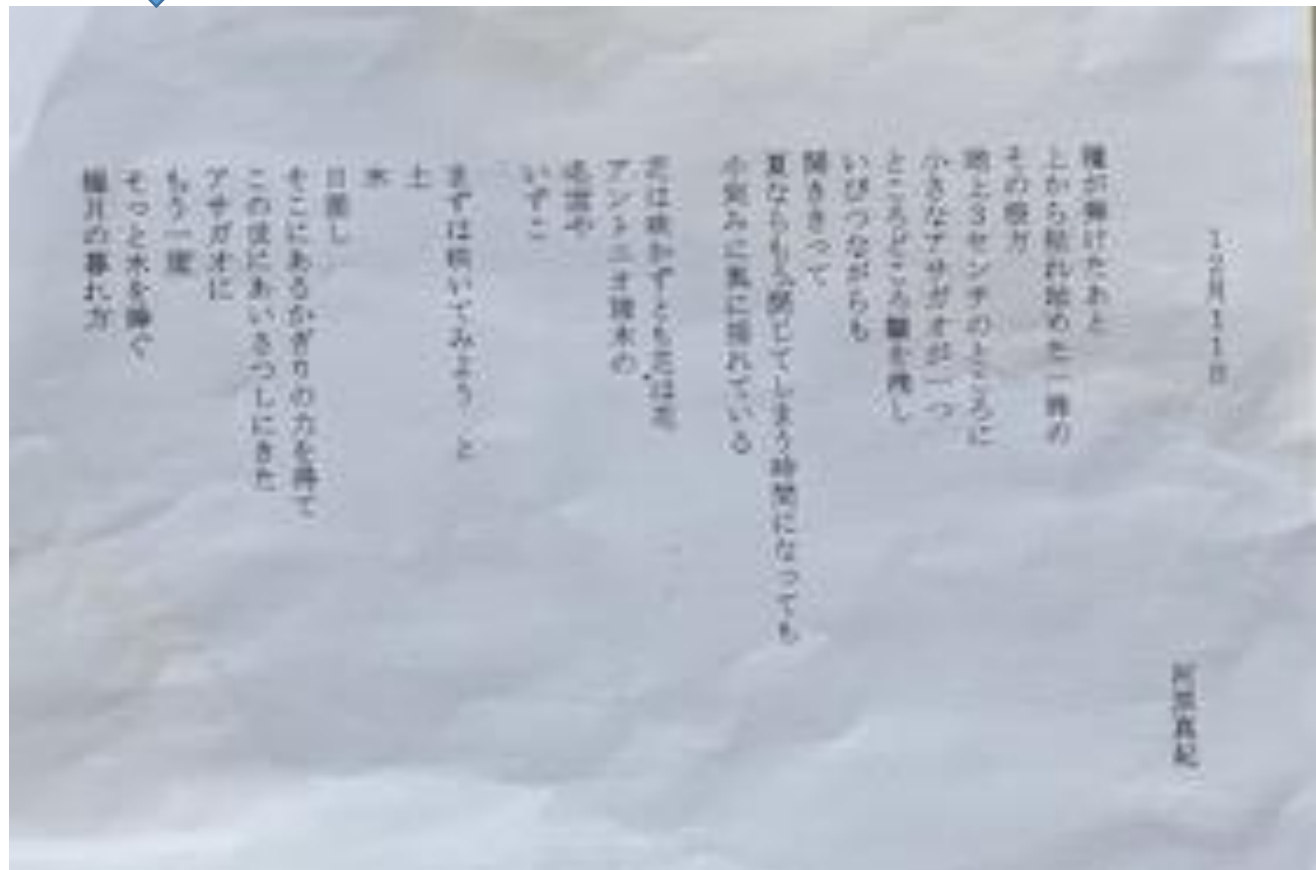
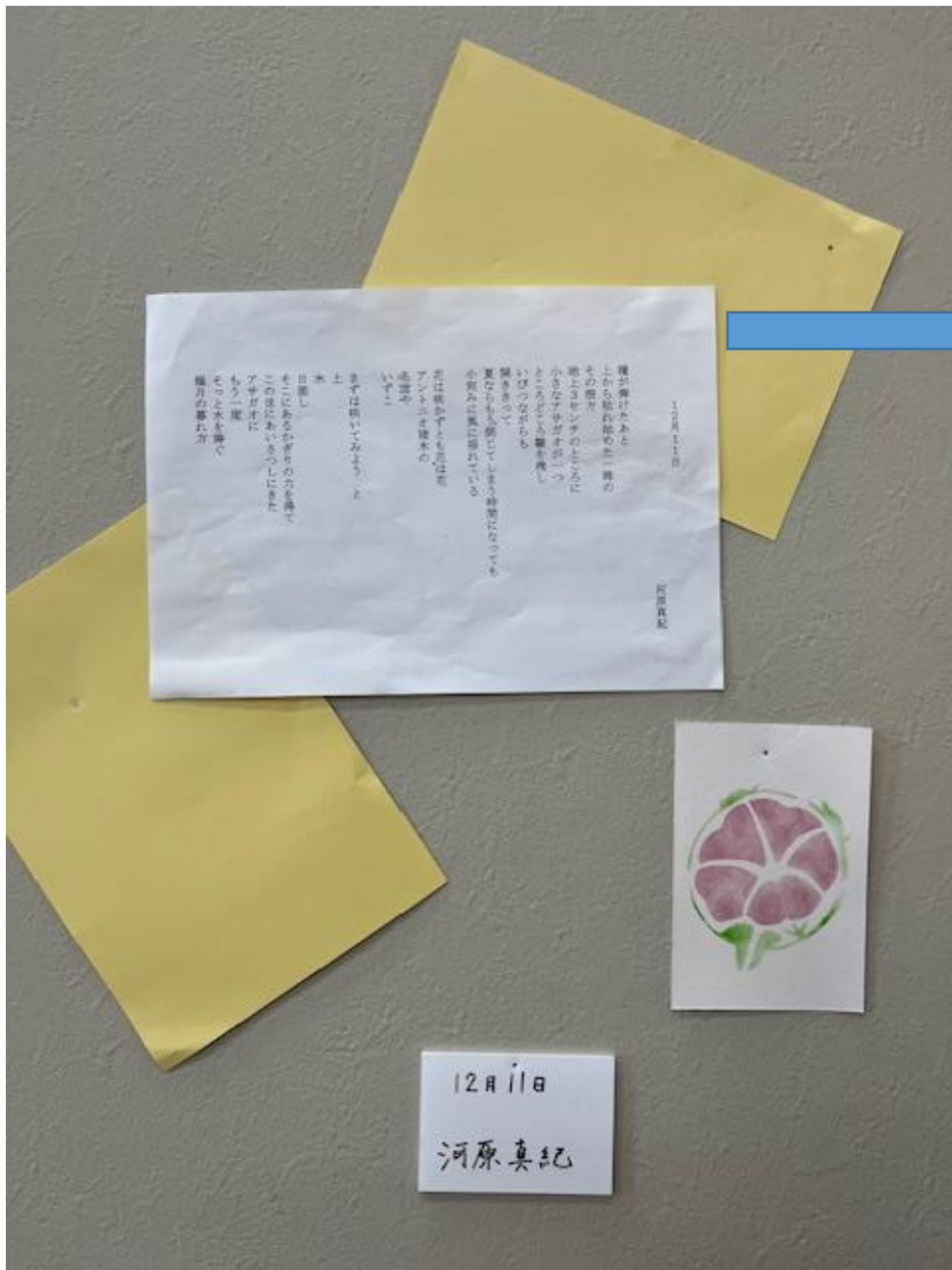
陶器

谷村ちぐさ



棚と写真立
下山百合子

河原真紀



12月11日

河原真紀

種が舞けたあと
上から種が落ちた一冊の
その奥の方
頭と3センチのところに
小さなアサガオが一つ
とこもれとみる種を埋し
いびつながら
開ききって
夏ならもろく裂けてしまふ時節になつて
小窓みに裏に描かれている
これは秋かすとも冬は寒
アサガオニオ種木の
赤い
いすこ
まずは読んでみよう
土
水
日曜し
そこにあるかぎりの方を丹て
この頃にあいさつしにきた
アサガオに
もう一度
そつと水を降ぐ
種がの暮れ方

12月11日
河原真紀

ますみちゃん
言葉が汚いよ

高松のおばあちゃんと一緒に来た
よしこおばさんが言う
高松では

「言っただら」とか「しただら」などは言わないらしい
「だ」や「が」で終わる濁った音は汚いのだそうだ
強かめる言葉の「か」も勢いが強くて汚いのだそうだ
人に決めつけてものを言ってるように聞こえるのだそうだ
語尾に「まい」ってつけてみまい
柔らかかないらし感じになるのに

私たちの集落は戦後の開拓地で
いろんな場所の人たちの吹きだまり
標準語の得意なはずの学校の先生でも
時々わからん言葉を使いなる

上の畑でみんな写真撮ろう
ますみちゃんも来まい
畑のチビを連れて行ってええだらか
私は名付けた時とは驚くほど変貌した
チビの大きな身体を抱っこする
可愛く撮ってもらわいや



詩 永井ますみ
絵 石井寛治

ことば

永井ますみ

永井ますみ



父
飯島小百合

飯島小百合



南の花たち
山本真弓

山本真弓



この写真は、
八十八段の石段（上）
手合せした
ことらしい

玉川侑香

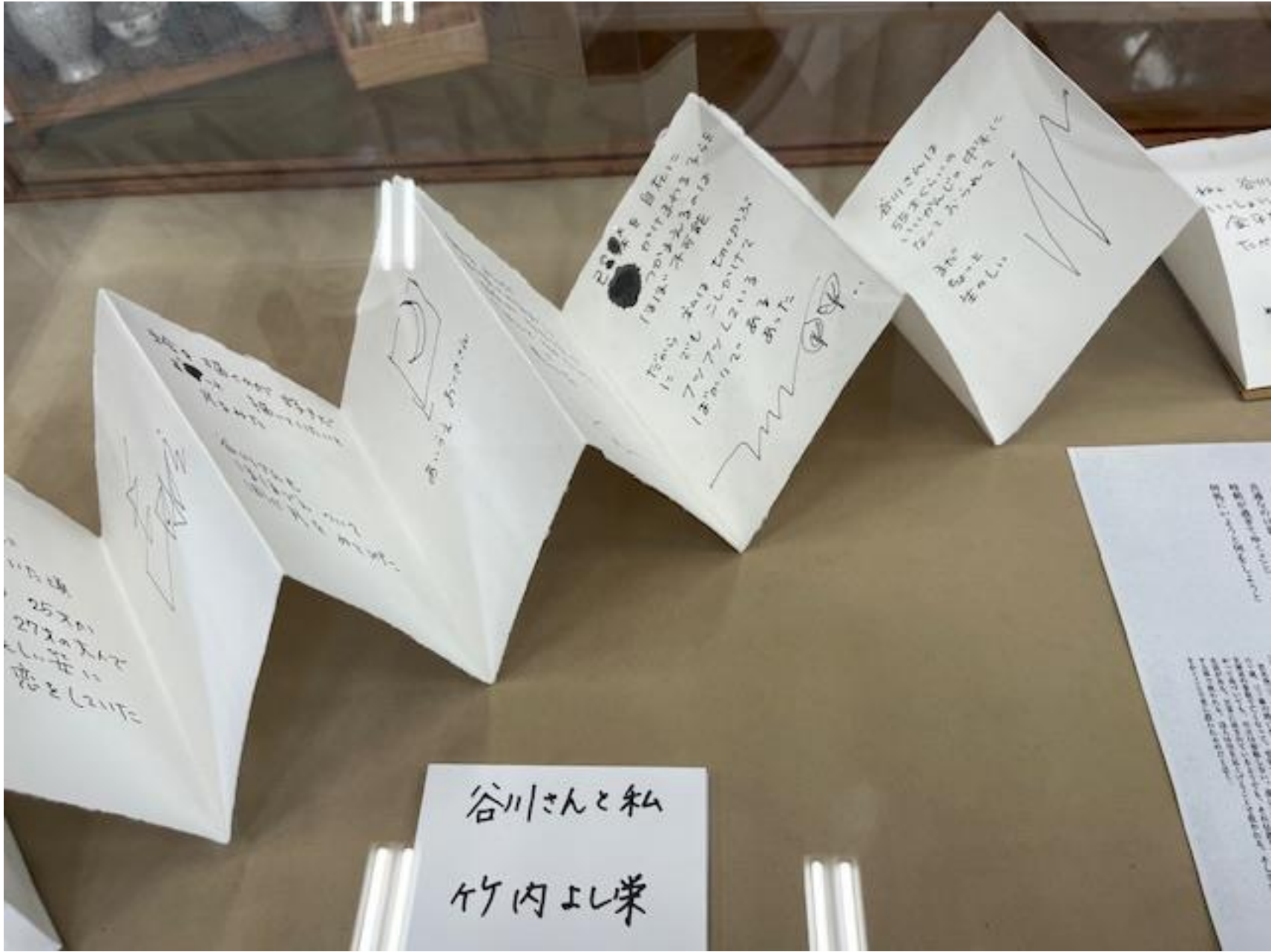
221
竹内よしの石段
八十八段
玉川侑香

玉川侑香

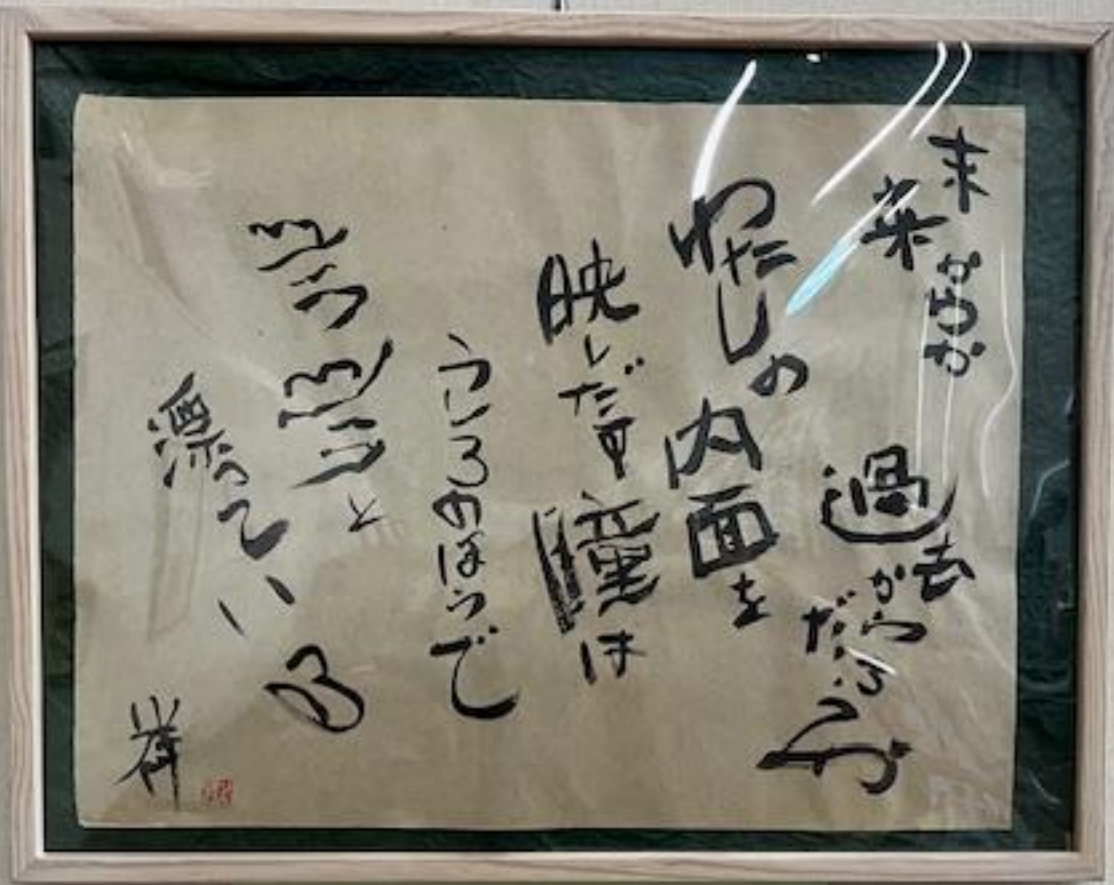


にきゆか
竹内よし栄

竹内よし栄



竹内よし栄2



バックミラー
福永祥子

バックミラー
福永祥子

福永祥子



大西隆志

在智猶迷

在智猶迷

松浦三津子

知っていること
知らないこと
知ろうとしないこと
いらぬこと
自分を知らぬ
あなたを知らぬ
こわれかけた茶碗の中
もしかして今日の朝日に光る
水槽の中
うすれかけた記憶とともに
行く先を問うかける
知っているはずが
知らなかつた
私とあなたの行く先
知っていても道に迷う
それか
私とおもも道に迷った
旅人

在智猶迷

松浦三津子

松浦三津子

No one else could gain admission here
because this entrance was intended for
you alone. Now I am going to shut it.

Before the Law.

F. Kafka.



「⁰律法の門前」

フランツ カフカに

よせて

高木敏克

高木敏克



震災関連特別賞

三十年

あの日からずっと空を見上げています
 十回披露にのって
 深く深く沈んだ君
 高ぶる感情を射入らせず
 片付ける事も出来ず
 飲み込むことも出来ず
 涙を流し続け地に跪いた

一日一日と日常に侵されてしまふ
 忘れぬという人もいれば
 忘れぬという人もいる
 忘れない、忘れない人も
 どうして忘れない人も
 人の言葉を聴いてくれない人も
 忘れない人も

三十年経ち嘆き時は動き続け
 ちよと君の
 しんといよ
 しんといけれど君に比べれば

三十年経ったのかという想いと
 誰もが三十年を背負っている
 誰かに背中を押されながら
 これからを生きて

そして

いとう ますを

三十年
後藤益男

後藤益男



寺田操1



寺田 操 2



まるは やがて
ア=どツ>く
とし 総子

とし 総子





野元正

紺碧と鎧
野元正

手作り鎧（鎌倉時代腹巻・写）
あこだなりすじかぶと
 阿古陀形筋兜（前立：蜻蛉）
 野元正 作

- ・小札こぎね：下地（紙+革チップ）、上塗（漆重ね塗）
- ・草所（草絵）：鹿革
- ・緘し糸、総角、：絹糸（西陣）

紺碧を鎧う

野元正

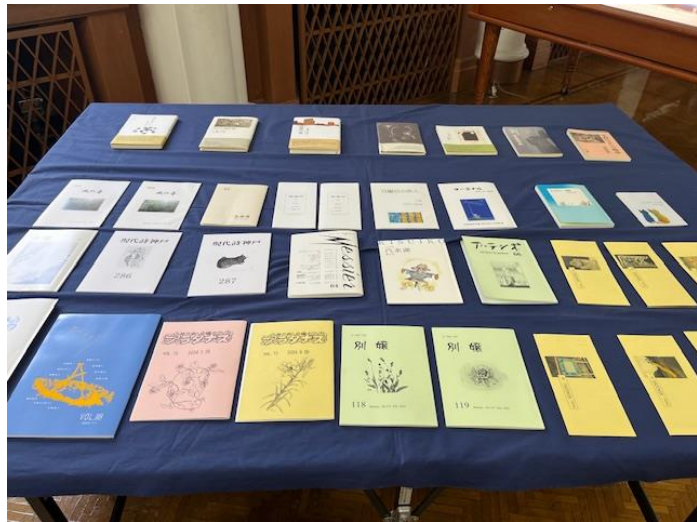
紺碧の鎧 いつも纏う
 混沌を恐れ 心を鎧う
 紺碧 乱心と恐怖を抑る
 水鏡ごと静寂な深淵を映る
 紺碧は心裡に 冷たい炎を
 秘め ひたすら静謐を願う
 死と向き合いながらも
 死を恐れ 戦う心を諷る
 紺碧の鎧 諍いと殺戮を嫌う
 不戦を誓う 紺碧を鎧い
 果てしない 紺碧の海原を
 呪縛を解き 漂流
 見知らぬ白浜に 辿りつき
 浜辺を 紺碧の花で染める



高橋須美子

特別イベント 講演会







会員による詩と、アート作品のコラボレーションの数々——今年も、絵画、書、写真、色紙、オブジェなどの力作が揃いました。
多くの方々のご来場をお待ちいたしております。

ポエム&アートコレクション出品者

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 阿部 由子 | 高橋 美子 | 水井 ますみ |
| 飯島 小百合 | 竹内 よし栄 | 水原 留美子 |
| 大西 隆志 | 谷村 ちぐさ | 中堂 けいこ |
| 河原 真紀 | 玉井 洋子 | 野元 正 |
| 後藤 益男 | 玉川 伸香 | 福永 祥子 |
| 下山 百合子 | 寺田 輝 | 松浦 三津子 |
| 高木 敏文 | とし 純子 | 山本 眞行 |

2025
3.27(木) — 4.1(火)

平日 / 10:00—17:00

土・日 / 9:00—17:00

(ただし最終日4月1日(火)は、15:00まで)

場所 神戸文学館

〒652-0836 神戸市灘区王子町3-1-2

阪急電車王子公園駅西へ徒歩7分 JR東灘駅より徒歩10分
王子動物園西隣

Tel & Fax : 078-882-2028



第14回

ポエム&アートコレクション

Poem & Art Collection

入場料無料

Poem & Art Collection

ポエム&アートコレクションへのお誘い

